

一茶ゆかりの里四季の俳句会（平成二十八年度七～九月分）

選者 高山俳壇 勝山久峰先生

特選 天 瘦せ腕を走る血管夏衣

群馬県 篠原庄治

痩せ腕と血管、現実をうまく捉えた。
夏衣がぐんと引立つ実感作。

特選 地 彩りに箸の進みし夏料理

群馬県 仙田美名代

兎角食欲不振な夏、調理する人の技術又は愛情によつての
色合い。元気に夏を乗り越えそうだ。

特選 人 夫の忌や山より大きい夏の雲

群馬県 土屋はじめ

夫の忌に大きく出た夏の雲。大きな山又雲より夫の存在の
方が大きく感じられた愛情作。

入選 天神の絵馬からからと涼新た

小布施町 池田紫艶

入選 畑一面力ボチャのつるに足捕らる

群馬県 滝沢照香

入選 父の日に孫の写真の贈り物

群馬県 竹渕千恵子

入選 尺取の尺取っている風の窓

群馬県 田村洋子

入選 青春と言ふ名の切符夏の旅

群馬県 角田美重子

入選 水張りの田を波立たす青嵐

群馬県 富沢節子

入選 母そこに在りしと思ふ昼寝覚め

愛知県 平野辰美